

「大正浪漫一座」さんが「なんでも相談日」を利用され 法人格を取得されました!

当センターでは、ボランティアや市民活動の支援のひとつとして、毎週火曜日に「なんでも相談日(要予約)」を実施しています。ここでは、NPO法人化についての相談も承っており、具体的なアドバイスも行なっています。この「なんでも相談日」をご利用いただいた「大正浪漫一座」さんがこの度、法人格を取得されましたので、ご報告させていただきます。

大正浪漫一座さんは、本紙第14号の巻頭「ちょっと気になる団体さん」でもご紹介した任意団体でした。「高齢者による、高齢者のための、元気づくり集団」として、歌や踊りを中心に活発に活動されていましたが、今後の活動展開を考え、もっと社会と繋がっていききたい、さまざまな団体・企業・行政と協働していきたいとの想いから、団体のNPO法人化を意識するようになったとのことでした。



法人化することで、団体の何かがすぐに変わるわけではありませんが、大正浪漫一座さんのように、会員さん一人ひとりが自ら背筋を伸ばし、活動だけでなく、日常生活に関することにおいても正面から立ち向かう姿勢を持たれていれば、きっとさらに強く大きな団体となるでしょう。会員さん一人ひとりの言葉から責任感の強さを感じる大正浪漫一座さんの更なる活躍に期待しています。

しかし会員さんの中には、団体の法人化に対し「NPO法人」という名称そのものをよく知らなかったり、「特別なことに取り組んでいる人たちのグループ」というイメージもあったりと、当初は不安な声も少なくなかったそうです。

確かに法人化については、メリットもデメリットもあります。しかし、デメリットばかりを考えて「やってもいけないことをできない」と言うのはおかししい、「やってみたらこそ、できる、できないが判断できる」、「一歩前に足を出す」ということが、私たちの活動そのものじゃないか」という会員さんの力強い声が次第に大きくなり、法人化することを決意されたようです。

書籍の森

担当者の「私信」を元に本を紹介する

「私のおすすめ書籍」

「私らってNPO(※1)なん?」とご質問いただいたAさんへお問い合わせありがとうございます。実は、他の団体さんからも同じような質問をいただくことがあります。まず、NPOかどうかの判断基準は多様ですので、その判断材料としてNPOの基礎を知ることのできる本をお薦めします。Aさんご自身の活動が「NPOなのだ」と知ることで、NPO特有の「強み」や「悩み」を、改めてメンバー間で共有できるのではないのでしょうか。NPOの基礎を理解し、今後の活動に役立ててくださいね。【H】

※1「NPO」：(民間)非営利組織のこと。法人格の有無に関わらず、種類を問わず、民間の立場で社会的な課題に取り組む団体の総称。

知っておきたいNPOのこと

・信頼されるNPOの7つの条件 ・NPO基礎知識Q&A

編集・発行/特定非営利活動法人 日本NPOセンター

NPOの基礎から、税制に関すること、他の組織との違いや付き合い方について知りたい方にお勧め。

知っておきたいNPOのこと 2【資金編】

・5つの資金ガイダンス ・NPO基礎知識Q&A【資金編】

編集・発行/特定非営利活動法人 日本NPOセンター まちづくり情報センターかながわ

わずか55ページの中に、NPOの資金源や特徴がぎっしり。団体の財源を見直したい方にお勧め。

NPOがわかるQ&A

著/早瀬昇・松原明

「自治会とNPOの関係」や「問題を起こすNPOもある」などの疑問・質問をスッキリさせたい方に。

書籍の森

ご協力ありがとうございます。引き続き書籍の寄贈を募集中です。

松阪市市民活動センターは新たに生まれる市民活動団体に活用していただくため書籍リサイクル運動「書籍の森」を実施中です。あなたの本棚に眠る使用済みのNPO書籍を次の世代に役立ててください。

【募集書籍】NPO、ボランティア、まちづくり、NGO、CSR資料

センターからのお知らせ

◎センター休館のお知らせ

下記の祭り当日は例年通り「休館日」とさせていただきます。

・氏郷まつり…11月3日(月・祝)

文字と文字の間を縫う…チラっと編集後記

秋ですね。衣替えのシーズンです。私も、先日まで着ていた半袖シャツをしまい、長袖のシャツを引っ張りだしました。そのシャツに久しぶりに袖を通した時です。何かが床にポトリと落ちたのです。見てみると小さなムカデ…。既にひらびいていたのですが、こんなかたちで季節の移り変わりを感じたくはないですね(苦笑) 【S】

AROMA

松阪発信!! 市民活動の情報紙—アロマ

次回発行は12月中旬頃です。 募集・イベント・事業案内など、共有したい情報をお持ちの方は、「アロマ掲載希望」の件名で「タイトル・趣旨・内容・日時・場所・問合せ先」などをご記入の上、松阪市市民活動センターまでE-mail かFAXにて送付してください。次回の原稿締切は2008年11月29日(土)です。 担当/澤・林

松阪市市民活動センター

〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 開館 月曜～土曜日/10:00～22:00

TEL 0598-25-3801(予約専用) 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

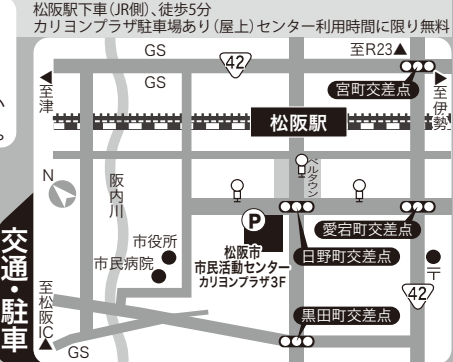
利用	会議室	大会議室…机 10 椅子 30 (600円)	機材等	印刷機(紙持込) / コピー機
		小会議室 1…机 4 椅子 12 (150円)		マイク/プロジェクター 他
		小会議室 2…机 6 椅子 18 (200円)	会議室・機材等はセンターに団体登録されることで利用可能です。	
		小会議室 3…机 4 椅子 12 (150円)	利用申込	申請書類は窓口でご記入いただくかお電話にて予約後、ご提出ください。
		外会議室…机 8 椅子 24 (400円)		

▼松阪市市民活動センターホームページ <http://www.katsudou.com>

▼市民活動情報サイト(登録団体の情報、会議室の空き情報) <http://genki365.net/gnkm/customer/matsusaka/>

▼市民活動情報サイト(携帯版) <http://genki365.net/gnkm/i/>

※ドメイン指定受信を設定されている方は「ma.genki365.net」を受信できるように指定してください。



AROMA

A Resident Of Matsusaka Activity No.19

発行…松阪市市民活動センター

〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 開館 月曜～土曜日/10:00～22:00

TEL 0598-25-3801 (予約専用) 0598-26-0108

FAX 0598-25-3803

E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

今回取材させていただいたのは…

【モアライフ研究会】さんです

黒子としての関わり方

市民活動を継続する上で、自分たちの活動の有用性を外部に発信することは大切だ。同時に、自分たちの名前をアピールすることも重要だろう。活動内容と名前を結びつけ、信頼を得られれば次の展開につながりやすい。しかし、今回取材に応じていただいた「モアライフ研究会」の代表、大田雅仁(おおたまさひと)さんは少し違う発想で活動を展開している。自身の団体を「黒子のような存在」と語るのだ。仕事であるプロデュース業、ディレクター業としてのノウハウを市民活動に活かし、同じ想いや、共感できる活動を展開する団体の事業などにサポート役として関わるといふ。他の団体の事業にアドバイスという「種」をまき、成功という「花」を咲かせる。そして最終的にはその団体独自で事業を展開できるよう自立を促すのだ。モアライフ研究会の活動の主軸は「生活の質の向上と文化意識の啓発」だ。「心と身体は健康は、文化の発展とは切り離せない密接な関係を持っていると思うんです」と語る大田さん。現在は音楽を通じて文化意識を高めてもらおうと、自らが楽器を演奏する音楽活動や、音楽イベントへのサポートを積極的に行っている。

モアライフ研究会 代表の大田さん

モアライフ研究会へのお問合せは… 090-6469-2536 (大田)

見えない壁へのジレンマ

こうした活動は全てが順調というわけではない。大田さんには、この活動を通じて感じる悩みがある。残念なことではあるが、目に見えない世代の壁、文化のジャンルの壁があるということだ。文化芸術の分野では、特に歴史ある伝統芸能などの活動をしている人たちと関わる時、外部を遮断してしまうような考えを感じることがあるという。大田さんはこの時、大きなジレンマを感じてならない。その活動(文化)を継承することも重要だ。しかし、新しいことへのチャレンジは、その活動の「まだ見ぬ側面」を発見するきっかけにもなるかもしれない。歴史ある文化芸術を新しい世代に伝えるためには、その時代に即した方法をとることも、時には必要なのではないだろうか。これはジャンルや世代間の壁にも言えることだ。年齢や経験などの差を「自分とは違う」と判断して遮断してしまうのは実に悲しい。世代やジャンルを越えてコラボレーションすることで生まれる新しい文化は、今までにない新境地を開拓させるかもしれないからだ。こうした今まで既存の文化に対し、新しい風を送り込もうという姿勢も市民活動ならではの自由な発想だろう。

音楽による世代間交流

今年5月に開催された「エコ&ミュージック青空フェスティバルin 森林公園」では、発足当初の実行委員会を取り仕切り、イベントの方向性を提示した。音楽を通じ、環境に対するメッセージを伝えるこのイベントは、市内のライブハウスに場所を移すなどして継続している。大田さんはこうした音楽イベントに取り組むことで、文化の継承や世代間の交流も意識している。若い人達との交流は、大田さん達にとっても大きな刺激であり「若者の力強さや、ノリの良さは、都会だろうが田舎だろうが関係ありませんね」と話す。そういった「若い人たちのあり余りの使い方を、いかに提示できるか?」というのがこの団体の今後のテーマだ。若者の抱える「あり余る力」は、やはり興味を示す部分に使われることが多い。大田さんたちの行なう文化意識の啓発、向上としての音楽活動は、そうした人たちへのアピールであり、「力の使い方」の見本にもなっている。音楽とはまさしく「音」を「楽しむ」文化だ。心地よい音色に満たされた空間を肌で感じ、そこに集まる人と接するということは、世代を超えた交流に相応しいシチュエーションではないだろうか。



ブンカの交流館 ニュース

秋期講座受講生募集中

秋深き隣は何をする人ぞ…皆さんは文化・芸術・スポーツの「秋」を満喫されていますか? 秋も新しいことを始める季節と言われていますよね。文化・芸術・スポーツ!! さあ始めてみましょう!! 前回のアロマでもお知らせいたしました、「ブンカの交流館秋期講座」が10月1日より始まりました。秋期講座より新たに始まりました講座は、「リコーダー」「アイリッシュ音楽」「二胡」などの音楽、大道芸の「南京玉すだれ」、木の実と花の飾り「ドイツ装花」などこの秋にぴったりの講座ばかりです。

他にも、「韓国語」や「話しことは検定講座」、「自己分析による幸せの心理学」、「大人の男の外見力レッスン」などのスキルアップ講座、また「日本舞踊」、「スポーツ吹矢」、「ヨガ」、「健康太極拳」、「武術太極拳」、「フラダンス」などのスポーツ講座、「マジック」、「押し花」、「プリザーブドフラワー」、「ビーズ」、「大正琴」、「平家物語」、「ユーモアアイデア発明」など趣味・教養を広げる講座が充実しております。秋深き隣は何をする人ぞ… 隣はきっと始めてますよ^^ まちづくり型カルチャースクール「ブンカの交流館」はベルタウン2階で開催中です。皆さんのお申し込み、お待ちしております。

お申し込み お問い合わせ TEL 0598-23-8400 Mail bunka@m-bridge.jp 担当/濱田

講座の詳しいご案内はホームページからもご覧頂けます。 <http://www.m-bridge.jp/bunka/index.html>

ブンカ 交流館 ニュース

たくさんあるね〜

【事業報告】 シュレッダーの寄贈先と団体を橋渡し

前号のAROMA18号に掲載しました、シュレッダー12台の寄贈に対しまして27団体のお申込みがありました。これは、リユースPCプログラム(企業などから提供された中古パソコンを再利用し、市民活動団体に寄贈するプログラム)などでも連携を共にするNPO法人イーパーツ(本拠地・東京)から提供されたものです。応募多数により市民活動センター運営委員会による公開抽選会の結果、右記の12団体に寄贈が決定しました。市民活動団体を含むNPOの運営には、会費とともに、寄付金(寄贈物)が、大きな財源の一つです。寄付金(寄贈物)を得ることによって安定した団体運営をすることが可能になります。なかなか日本では、寄付文化が根付いていかなければならないと言われてますが、当センターでは、個人や企業に対して、さまざまな「寄付の形」も提案していき、今回のシュレッダーのように、登録団体の運営をサポートできる「物やサービス」を提供したいと考えています。市民活動団体に対する物品や運営資金の寄付をお考えの方は当センターまでお気軽にお問い合わせください。【問】0598-26-0108(担当/福井)



【寄贈が決定した12団体】
・朝見まちづくり協議会
・NPO法人エールの会
・サークル「かざぐるま」
・災害時における飲料水確保支援ボランティア
クリスタルヴァレー水130人会
・「歩道松阪」短歌会
・松阪祇園まつり三社みこし世話人会
・松阪市観光協会
・松阪市自治会連合会
・松阪商工会議所
・松阪生活と健康を守る会
・松阪能楽連盟
・森のグルッペ
(50音順)



松阪市市民活動センターも協力します!!

みえボランティアフェスティバル2008

市民活動団体などが活動内容を発表することで、課題の再認識、団体同士の交流、情報交換の場とすることを目的として開催します。退職を控えた団塊世代や若者などの参加を促進し、市民活動の推進を図ります。

日時
平成20年11月15日(土) 10:00~15:30

場所
松阪市郷野ふるさと会館(松阪市郷野権現前町)

主催
みえボランティアフェスティバル2008実行委員会
社会福祉法人三重県社会福祉協議会

お問い合わせ
社会福祉法人三重県社会福祉協議会
TEL:059-227-5145

今年も「氏郷まつり」に出展します

松阪を代表する祭りである「氏郷まつり」に出展し、中心市街地を盛り上げるため頑張ってます。センターの管理者となってから、毎年欠かさず出展し、今年で早くも3年目となりました。今年の氏郷まつりのテーマは「郷土愛を育てる祭り」。まちづくり、地域づくりを考えるときに「郷土愛」はとても大事ですね。当センターとしても大事にしていきたいテーマのひとつです。今回は企業の地域貢献活動の紹介なども行ないつつ、市民活動のPRも行なう予定です。当センターは市民活動の情報提供だけでなく、CSR(※1)を伝える役割も大切と考えております。当センターのラウンジ内「書籍の森」では、CSRレポートの設置や閲覧も常時実施していますので、どうぞご利用ください。

※1:CSRとは?…企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility)
氏郷まつり 日時…平成20年11月3日(月・祝) 9:00~16:00
場所…松阪駅前周辺商店街

センター長の独り言
松阪のセンターは、事業、講座、登録団体など「多い」という評判だけでなく、「少なさ」の自慢もありますよ。例えば、クレーム、ゴミなどですね。快適な施設であるために、陰での管理作業も張り切ってます!

内容

メイン会場

- 松阪商業高等学校ギター部演奏
 - 人情劇団An-Pon-Tan公演など。
 - パネルディスカッション(14:00~)
- 「ボランティア活動が生んだ「chiiki愛」」
- センター長の米山もパネリストとして登場します。
- コーディネーター
小島 祥美氏 (愛知淑徳大学 コミュニティコラボレーションセンター講師)
- パネリスト
小川 直大氏 (人情集団「An-Pon-Tan」代表)
小川 敏彦氏 (松阪市ボランティア連絡協議会 副会長)
田中 大樹氏 (三重中京大学短期大学部 子ども学科2年)
米山 哲司 (松阪市市民活動センター センター長)

分科会

「いろんなボランティアを知ろう!」をテーマに、様々な分科会を実施

ボラ町ステーション

- 体験コーナー 炊飯体験・点訳機・車いす体験・EM菌液作りなど
- ステージコーナー まちの芸達者さん・子供サンパなど
- 模擬店コーナー 焼きそば・たこ焼き・有機野菜・香水作りなど
- お遊びコーナー 手品あそび・おもちゃの病院・造形あそびなど
- その他 千人鍋無料配布、相可高校お弁当限定販売!

工夫ひとつで広がる空間



当センターのギャラリーを利用して、「朝見まちづくり協議会」さんが実施した夏祭りの模様を展示されました。写真を見ていただくとお分かりかと思いますが、天井から「ちようちん」をぶら下げるなど遊び心あふれる工夫が印象的でした。ちょっとしたアイデアで面白い展示が可能なのだ、スタッフの間でも話題となりました。このギャラリーには皆さんの工夫次第で面白くなりますよ! 団体のPRや、事業報告などに是非ご利用くださいね。

～街と自分・再発見塾～ ネクストドア NEXT DOOR

～新聞記者から学ぶ～ 情報の発見と発信

「公園の花がキレイに咲いたわ」「景色のいい場所を知っているよ」など、誰かに伝えたい街の話題というものがあります。ネタを見つけるコツ、文章にまとめるコツを新聞記者から学びます。受講後は「目の付けどころがいい」「解りやすい文章を書く」と言われること間違いなし!

【とき】 全3回 ①10月25日(土) ②11月1日(土) ③11月29日(土) (3日間とも午後2:00~)

【講師】 株々刊三重新聞社 総務部次長 古屋武之さん

【料金】 500円×3回=合計1,500円

親の力UP!! ケータイ安全教室

被害者になるな! 出会い系、架空請求、ワンクリック詐欺の手口を知って備える

加害者になるな! プロフ、ブログ、掲示板、学校裏サイトなどのルール、マナー

【安全安心な利用を】 家庭でのルール作り、使いすぎ防止、安心機能の活用子どもを危険から守るために!

【とき】 11月7日(金) 午後2:00~2:50

【講師】 NTTドコモ ケータイ安全教室スタッフ **【料金】** 100円

笑顔力UP!! ピエロの技であなたも人気者!

人を楽しませること、もてなすことにはコツがあります。ピエロの技と心を学べば、あなたも人気者に! 風船をクルッとひねって作るバルーンアートを基礎を身に付けると、初対面の子どもでもすぐに仲良し。町内会の祭りや近所の商店街にそんな大人がいいたら嬉しいだろうなあ~

【とき】 全2回 ①11月25日(火) ②12月3日(水) (2日間とも午後7:00~) ※イメージです

【講師】 ポケットピエロ Heyちゃん

【料金】 500円×2回=1,000円(材料費含む)

超笑顔力UP!! ～初心者限定～ 自分らしい仕事の作り方講座

「好きなこと=仕事」だったら幸せなことです。「働かされている」から「自分流で働く」へ。空いた時間を活用してその夢をかなえませんか。少資金と小リスクの開業や、コミュニティビジネスの事例など自分らしい仕事が見つかりそうです。創業って、意外とカンタンかも!?

【とき】 全2回 ①11月30日(日) ②12月7日(日) (2日間とも午前9:30~)

【講師】 中小企業診断士 三田泰久さん

【料金】 500円×2回=合計1,000円

■各講座共通のご案内

【会場】 松阪駅前ベルタウン2階の「ブнкаの交流館」(一部を除く)
【締切】 各講座の実施日(または初日)の1週間前。(定員になり次第締切ります。お早めにどうぞ)
【詳細】 お支払い方法などの詳細は、お申込み後の「受付完了通知」でご案内します。

■メールマガジンの登録

上記の掲載以外にも新たな講座がドンドン増えます。新講座のご案内は、メールマガジンでお届けします。メールマガジンの登録は、<http://www.m-bridge.jp/nextdoor/> で、受付中です。

松阪市広報の10月号にも掲載されていますので、そちらもご覧ください。これから決定する新講座もご期待ください!

前回のAROMAで事業予告した松阪市主催の「ネクストドア」がついに始動! ご自身の「〇〇の力」をアップして、街や自分の「好き!」を再発見できる講座をたくさん用意しています。まずは現在決定している講座をご紹介します!

初笑顔力UP!! はじめてのフリーマーケット講座

※「50歳以上」と「主婦・子育てママ」の2種があります。

家庭の不用品が「おこづかい」や「笑顔」に変わるフリマ。「どうやって出店するの?」という未経験者に「出店のコツ」「売れる品とは?」「展示方法は?」などをお伝えします。希望者には出店できる場もご提供。リサイクルは環境にも優しい活動ですね。

【とき】【50歳以上限定】→11月6日(木) 午後3:30~5:30
【主婦・子育てママ限定】→11月14日(金) 午後1:00~3:00

【講師】「月刊フリーマーケット天国」発行元 LIPS京都 赤澤貴子さん

【料金】 100円

定年力UP!! 定年退職士3年の講座

新入社員に対して研修があるように、晴れて地域社会に入る定年退職者に対しても、「退職研修」があれば悩みません。「趣味はないし、これからどうしよう」とOBに元気がないのは企業としても残念なはず。ゴロゴロではなくイキキと楽しんでもらうためのコツを伝授します。

【とき】 11月23日(日) 午後2:00~3:30

【講師】 財シノアルネサンス財団 事務局長 河合和さん **【料金】** 1,000円

【対象】 定年退職まで「あと3年以内」、または退職して「まだ3年以内」の皆さんが対象。
※対象者を持つ奥様やお子様もご参加いただけます。

安全力UP!! 役立つ! 安全マップの作り方・考え方

あなたの街の安全マップづくりの方法と、その考え方を知っていただく講座です。交通事故多発、不審者出没、危ない通学路などの場所を地図で確認することで、事故や犯罪の少ない街になるでしょう。自治会、子ども会、学校関係者など、どなたでも参加できます。

【とき】 11月26日(水) 午後6:30~8:30

【講師】 松阪地方青少年育成市民会連連絡協議会 事務局長 新田久巳さん

【料金】 100円

笑顔力UP!! 松阪らしい活動資金の集め方

どうすれば資金調達(ファンドレイジング)がうまくいく? 市民活動(NPO)と社会をステキに変える資金調達のココロとノウハウを、人気ブログ「ファンドレイジング道場」主宰の講師から「7つのステップ」と「7つの原則」で学びます。松阪らしい活動資金の集め方って?

【とき】 12月6日(土) 午後3:00~4:30

【講師】 株ファンドレックス 代表取締役/ファンドレイジング道場 代表 鶴尾雅隆さん

【料金】 1,000円

■「申込み」はこちらへ

「〇〇受講希望」とご記入いただき、「〒・住所・名前・TEL・FAX・Eメール」を事務局までご連絡ください。

事務局 NPO法人Mブリッジ(ネクストドア担当)

FAX 0598-25-3803

Mail info@m-bridge.jp

TEL 0598-23-8400

まだ会議室利用だけ?

松阪市市民活動センターは こんな使い方もありますよ!

センターの機能を「団体仕様」に組み合わせ「継続的」にご利用いただいている事例をご紹介します。

センターの情報サイトを上手に活用される「ミュージカルBeOne」さん

- 情報紙AROMA(※1)の取材にお応えいただきました
- アビ×サボ(※2)の活用 → 企業の野外ステージでパフォーマンスを披露
- アビ×サボの活用 → 商店街で市民活動団体フリマにご出店いただきました
- 市民活動PR番組「だから、市民活動!」(※3)にご出演いただきました
- チラシ・チケット設置などでイベントPR

代表の眠さん(右)高松さん(左)

BeOneは、松阪市内在住の小中高校生27名によるミュージカル劇団です。2006年4月「陽はまた昇る」、2007年4月「ヒルズオブウィンド」、2008年6月「青空」を公演しました。活動センターには、広報面や人材探し等、様々な支援をいただいておりますが、私たちのHPへのヒット数は情報サイトからが最多です。今後は私たちが何かのお役に立てるよう努力していきたいです。

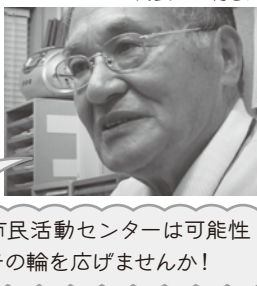


広報や交流にも力を入れている「朝見まちづくり協議会」さん

- 登録団体交流会(※4) → 希望の園さんのTシャツを着て交流をアピール
- 氏郷まつり「市民活動ブース」(※5)出店 → 営農PRや昔の農機具展示
- 市民活動PR番組「だから、市民活動!」にご出演いただきました
- 展示スペース(※6)ご利用 → 夏祭りの写真展示

代表の田村さん

「地域のことは地域で考え、行動をしよう」と住民の総意で設立しました。夏祭・芸能大会・防災訓練・防犯バト・作文コンクール・地域美化運動・出前福祉行事などみんなで考え、みんなで活動しています。異なる団体との交流は、楽しい発見と啓発の機会です。市民活動センターは可能性を発見する場、発信基地です! みんなで活用し交流、友好の輪を広げませんか!



三重県教育文化賞も受賞された「NPO法人チャレンジスクール三重」さん

- 情報紙AROMAの取材にお応えいただきました
- 三重県教育文化賞受賞 ・三重県との協働事業提案採択
- リユースPC寄贈プログラム(※7)にご応募いただきました
- 市民活動PR番組「だから、市民活動!」にご出演いただきました
- 印刷機などのご利用

代表の玉村さん

不登校生や高校中退者の「学び」への再チャレンジを支援する目的で居場所と支援を提供するスクールを運営しています。今年度は文部科学省からそのような若者の支援に関する研究事業の委託を受けています。センターでは大多数のパンフの印刷や、A3サイズのカラー印刷が必要になったときなど、お世話になっています。



「お断り」…今号のNPO川柳

今回のNPO法人ひとくちメモ「ひとくちmemonpo!!」は「会員」についてです。皆さんの団体では、団体の活動に賛同し、共に活動をする「会員(NPO法人では『社員』といえます)」って募集されていますか? 本来、市民活動団体の定義として、会員募集は必須です。活動自体が社会貢献である以上、多くの人に活動を認めてもらったり、活動に賛同してもらい、人的もしくは金銭的な支援を受けます。特に金銭的な支援は、活動資金の中心となる場合も少なくありません。しかし、それには自分たちの活動を報告したり公開したりした上で賛同が得られるもの。知り合いに頼んで、人数合わせで参加してもらったり、資金調達をするのでは、本来の意味を成していません。例えば、イベントなどで活動しているときこそ、会員募集! 団体の活動そのものを見ていただくチャンスなので、同じ志を持つメンバーを獲得することは、団体を大きく強くすることに繋がります。皆さんの団体では会員募集されていますか?

「お断り」…今号のNPO川柳は紙面の都合上、お休みとさせていただきます。なお、作品は随時募集しておりますので、どしどしご応募ください。

負けじと副センター長も独り言

週に一度、年齢が私の半分くらいの若者たちと一緒に、ある「習い事」をしています。怒りますわー!若い者にはまだ負けん!

